

# e-dream-s 通信

No.40 発行：2003年12月14日 特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

## 目次

- |   |                     |       |     |
|---|---------------------|-------|-----|
| 1 | 海峡を越えて              | 辻荘一   | p2  |
| 2 | My ブーム：伊吹艾と生ハムとJR   | 井川好二  | p3  |
| 3 | 「トリビアの泉」の秘密         | 中川房代  | p8  |
| 4 | ベトナムへ行こう！< 3 >      | 山田昌子  | p10 |
| 5 | 写真を使ってみての感想と今後の予定   | 道面和枝  | p12 |
| 6 | 年賀状で @aglance の紹介を！ | 辰巳ゆきえ | p13 |



ニューヨーク・ロックフェラーセンターのクリスマスツリー

©e-dream-s



ソロモン國島 クリスマスワーム ©e-dream-s

撮影 Gerald Mckay

撮影 藤澤俊之

# 海峡を越えて

辻莊一

2時間半の道のりを車で駆けつけた道面さんの亡くなったお母さんがかつて修行したと言う、漢字が難しく読めない下関の河豚（下関ではふくと読む）の店で、煮ごりから始まってふくさし、ふくゆびき、ふくの唐揚げ、てっちり鍋と食べれば、幸せにならない訳がない。これだけでも遥々大阪から来た甲斐があったというものだ。韓国から参加した権ヤンヒ先生も満足げである。もっともひれ酒だけはちょっと刺激が強すぎたか、塚本さんが勧めてもちょっと口を付けただけだ。塚本さんの同僚の家にホームステイしている朴圭相先生がこの場にいないのがちょっと残念だ。

時は2003年12月12日金曜日午後8時、「海峡にかける虹（仮題）」のテキストを使っての授業を見学した後の夕食である。授業は二つ。大阪から来ていただいた金剛高校の朴圭相先生と塚本さんの勤務校の田中文字子先生による倫理の授業（使用テキストは「儒教」と「食べ物」）と、権ヤンヒ先生と塚本さんによる「食べ物」のテキストを使った英語の授業である。

倫理の授業は、少人数クラスということもあり社会科には珍しく生徒とのやり取りの中で授業を作り上げるというスタイルである。儒教というテーマはさすがに取っ付きにくかったのか、最初は反応が鈍かったが、朴圭相先生が親の前ではタバコは喫わないとか、酒を飲むときは顔をそむけて、隠すようにして口にするなど身を振り交えて説明すると、俄然生徒たちの興味が高まるのが分かる。この辺りはやはり「本物」の力である。しかし何といても受けたのは、スーパーで買った白菜の漬け物と権ヤンヒ先生手作りのキムチの食べ比べである。最初はもじもじしていた生徒も次々と口にして、みな笑顔である。その後のやり取りも活発になった。

英語の授業は、塚本先生・権ヤンヒ先生・ALTのチームティ칭ングだ。「食べ物」のテキストの聞き取りをざっと流した後、生徒たちは4つのグループに別れて「fusion food」や「traditional Korean food」などそれぞれ与えられたテーマでテキストの内容をまとめて英語で発表する、という課題に取り組む。発表原稿を作る過程で、グループ内でテキストの内容の確認、机間巡視している塚本先生・権ヤンヒ先生・ALTに英語で質問しなければならないという仕掛けだ。さすがに塚本さんベテランの味である。写真を撮りながら見ていると、

やはり韓国から駆けつけた権ヤンヒ先生とのやりとりが一番盛り上がっている。横で見ている私は生徒たちと韓国の先生との「英語」でのやり取りを見てちょっと嬉しい。ほら、英語でいろいろな役に立つだろう？と言ってやりたくなった。

イー・ドリームズの今年のテーマは「共振」、イー・ドリームズが起した波が、様々な個人や団体と共振し、大きな波となっていくイメージだ。まだまだ波は小さいけれど、北九州の先生方を始め権ヤンヒ先生と朴圭相先生との共振が始まっているのは確かだ。テキストが完成し、ECAP が回を重ねればその波はさらに大きく海峡を越えて共振して行くだろう。

しかし共振は、そもそも波を起さなければ始まらない。そして揺らし続ける人間がいなければ大きくなる。ECAP という遠大なアイデアを出し、助成金を申請し、自腹を切って研修に参加し、編集作業を続け、研修会を企画し、煩雑な準備をこなす、そんな人たちなしでは、共振はあり得ないことを忘れてはならない。

韓国・北九州・広島・大阪から集まった4人が下関で日本一（すなわち世界一）の河豚を食べている不思議を話題にしながら、そんなことを考えたのである。

e-dream-s.come.true

## MY ブーム：伊吹艾と生ハムと JR

井川好二

世間ではそれほどでもないが、自分だけが嵌っている、秘かなブームのことを、「My ブーム<sup>1</sup>」と云うらしい。最近、それがあると、ちょっと嬉しくなってしまう私の My ブームをいく

---

<sup>1</sup> マイブーム(流行語大賞'97)トップテン入賞

受賞者:みうらじゅん(漫画家)1997年に突如として“ブーム”になったのが「マイブーム」。漫画家のみうらが仕掛人である。要するに、世の中の流行とは無関係に、自分だけの「ブーム(流行)」を持つという生き方。その瞬間に興味を持ったものすらその時点で「ブーム」になるのだから、“流行”という概念自体をぶち壊しにする世紀末の言葉である。[現代用語の基礎知識2001年版]

つか紹介したい。

いい歳をして、高校生みたい、と叱られても、ちょっといい感じは、人に話したくなるものである。蓋し、内緒にしておきたいけど、ちょっと話してみたいアンビバレンツ。私の My ブームである。

### (1) お灸：

この歳になるまで、お灸など見たことも、ましてや、したことも無かったのだが、近頃通いはじめた整体師の先生のレポートリーに、お灸が入っていて、首と背中中の治療の度に、ツボである「足三里<sup>2</sup>」「腎俞<sup>3</sup>」「関元<sup>4</sup>」などに、温灸や灸をして貰う今日この頃である。最初は、やや違和感があったが、近ごろでは、あの艾の燃える香りと温痛感が癖になっている。My ブームである。

東洋医学では痛みの原因に「冷え」をあげることができます。骨や関節は盛んに代謝を繰り返すことで丈夫さを保っていますので、「冷え」は関節部の新陳代謝を鈍らせ「膝の冷え」=「膝の痛み」となって不快症状が生じるとみます。「冷え」があると全身的に「気・血・水」の循環がスムーズに行われない原因となり、身体のバランスがくずれて局所的な歪みとして関節の痛みが生じると考えます。患部である関節周辺のツボに施灸し温熱刺激を与えて痛みをやわらげるとともに、全身的なケアを並行して行うことが大切です<sup>5</sup>

お灸で燃やす薬草を「艾<sup>6</sup>」(もぐさ)と云う。艾とは、蓬(よもぎ)の葉を乾燥したものの。

---

<sup>2</sup> あしさんり： 体育座りのようにして膝を立て、膝関節の皿「膝骸骨：しつがいこつ」の直下にできるくぼみに人さし指を添え、「人さし指+中指+薬指+小指」をそろえた指幅4本下がったところが足三里のツボです。イラストのように、中心を通る太い骨(すね)の外側を指で押すと圧痛があります。足三里にお灸をすえることを「健康灸：けんこうきゅう」といい、病気予防、病気回復、体力増進に広く用いられ、必ずケアしておきたいツボのひとつです。[http://www.senneng.co.jp/knee/knee\\_top.html](http://www.senneng.co.jp/knee/knee_top.html)

<sup>3</sup> じんゆ： 手をのばして直立した時、肘が身体の側面にあたる高さと同じ高さの背骨から「人さし指・中指」をそろえた指幅2本、左右両側へずれたところです。ベルトの高さとほぼ等しく、上の写真を参考にし、圧痛もしくは痛気持ち良いポイントにお灸をすえます。東洋医学でいう「腎」は、私たちが生まれながらにして持つ「先天の気」によって充たされ、「生命活動」ともっとも関係の深いものとされています。[http://www.senneng.co.jp/knee/knee\\_top.html](http://www.senneng.co.jp/knee/knee_top.html)

<sup>4</sup> かんげん： 身体の中心線上で、へそから「人さし指・中指・薬指・小指」をそろえた指幅4本下がったところです。上の写真を参考にし、圧痛もしくは痛気持ち良いポイントにお灸をすえます。[http://www.senneng.co.jp/knee/knee\\_top.html](http://www.senneng.co.jp/knee/knee_top.html)

<sup>5</sup> [http://www.senneng.co.jp/knee/knee\\_top.html](http://www.senneng.co.jp/knee/knee_top.html)

<sup>6</sup> ヨモギの葉を乾かして製した綿のようなもの。これに火を点じて灸治(きゆうじ)に用いる。焼草やきくさ。名語記「やいとうの→[広辞苑第五版図版付き]

伊吹産<sup>7</sup>が良いと云う<sup>8</sup>。そのうちでも、「ゴールド」と呼ばれる金色に仕上がった艾が、最高級だと云う。伊吹艾のことを、英語では；

Mt. IBUKI has been a moxa growing area since ancient times. Mugworts<sup>9</sup> picked at the foot of the mountain produce high-quality "Ibuki Moxa". This product has supported the health of many for more than thousand years. We have created low-heat Sennenkyu for use anytime, anywhere. We wish for the well being of many people with continued and cherished use of this moxibustion<sup>10</sup>.

([http://www.sennenq.co.jp/knee/knee\\_top.html](http://www.sennenq.co.jp/knee/knee_top.html))

お灸は、東洋医学の一つで、むろん発祥は中国である。私のお世話になっている先生によると、中国の南部で鍼治療が発達し、灸治療は北部で発達した。

ここ半年くらい続けているが、お陰さまで、体調が良いとも思うが、「病は気から」、効くと思うから効いているのかもしれない。とはいえ、ゆっくり身体に作用する漢方系お灸が、今 My ブームの一つである。信じるものこそ、救われる、のである。

( 2 ) スペイン：

ヨーロッパには、何回か出かけたが、スペインにはまだいったことがない。歴史的に云えば、中南米におけるスペインの植民地政策の極悪非道ぶりには、聊か辟易としていた。オリンピックの開かれたバルセロナ<sup>11</sup>や、ザビエル<sup>12</sup>の出身地バスク<sup>13</sup>には、興味があったが、これらはスペイン領内とは云いながら、周辺。独立運動も根強い。故に、こうした地域への興味は、本来的なスペインへの興味ではなかった。

<sup>7</sup> 司馬遼太郎「街道をゆく24:近江散歩・奈良散歩」東京:朝日文庫。

<sup>8</sup> いぶき やま【伊吹山】滋賀・岐阜両県の境にある山。標高 1377メートル。山中薬草に富む。石灰岩の採取地。[広辞苑第五版図版付き]

<sup>9</sup> ヨモギ【リーダーズ+プラスV2】

<sup>10</sup> n 灸, 灸療法。[リーダーズ+プラスV2]

<sup>11</sup> バルセロナ【Barcelona】スペイン北東部、カタルニア地方の中心都市。地中海に臨むスペイン第1の貿易港で、商工業の中心地。ガウディの代表作、神聖家族聖堂がある。人口 159万6千(1991)。[広辞苑第五版図版付き]

<sup>12</sup> ザビエル【Francisco de Xavier】日本に渡来した最初のイエズス会士。スペインのナバラ王国の貴族。1541年東洋伝道のためインドからマラッカなどを遍歴、49年(天文18)鹿児島に來り、平戸・山口など日本各地に伝道。51年離日、中国に入ろうとして広東付近で病没。「インドの使徒」の称号を贈与された。漢名は方濟各。シャビエル。ザベリヨ。(1506~1552)[広辞苑第五版図版付き]

<sup>13</sup> バスク【Basque フランス】ピレネー山脈西部、フランス・スペイン国境にまたがる地方。1960年頃から独立運動が活発化。スペイン語名バスコ(Vasco)。[広辞苑第五版図版付き] 司馬遼太郎「街道をゆく22:南蛮のみち」東京:朝日文庫 参照。

しかし、最近、この今まであまり馴染みのなかった国に、接近する切っ掛けがいろいろと生まれた。まず、スペイン料理。生ハム<sup>14</sup>が好きなのが、いつか、イタリア・パルマ産<sup>15</sup>より旨い、スペイン産の生ハム<sup>16</sup>があると聞いて試してみた。なかなかいける。その「熟成」感が良いのである。

職場の近くのオフィス街、淀屋橋に、オシャレで旨いスペイン料理店ができた。早速、ランチやディナーに行き、そのワイルドな料理と野性的なワインに嵌ってしまった。

最近、仕事の関係で知り合った男性が、実は、今年の6月まで、スペインのアンダルシア<sup>17</sup>地方にある日系リゾート・ホテルで、マネージャーをしていたことが分かった。家族を東京に残し、単身赴任で5年勤めたと云うが、今でも、そのホテルや周辺のレストランに知り合いがたくさんいると云う。

ホテル代をケチると、その国が嫌いになる、とは私の持論だが、こう云う知り合いができると、俄然その国が近くなった気がする。そのアンダルシアのリゾート・ホテルに一週間くらい滞在し、車であちこち訪れて、旨いスペイン料理とワインをしこたま胃袋に入れると、今まで全く見えていなかったこのイベリア半島の国が、しっかり見えてくるのかもしれない。つまり、「スペインの発見」である。蓋し、こうした「発見」は、早い方が良い。

---

<sup>14</sup> なまハム【生ハム】豚肉を塩漬けしたあと、加熱をせずに長期間乾燥・熟成したハム。また、乾燥後低温で薫煙したラックスハムのこともいう。フランスのバヨンヌ産やイタリアのパルマ産が有名。uncured ham【新世紀ビジュアル】

<sup>15</sup> イタリアでもっとも有名な生ハムは、パルマ産とサン・ダニエーレ産のプロシュート・クルードです。これらの地域はプロシュート・クルードの熟成にとくに適した気候風土をもっており、プロシュート・クルードにつけられている焼き印は、品質と原産地を保障しています。<http://www.namaham.com/prosciutto.html>

<sup>16</sup> ハモンセラノは美味しさ、成熟期間中に熟成したその複雑な風味と香りが素晴らしいばかりではなく、自然食であり、栄養が豊富な健康食品でもあります。高品質のハモン・セラノの切り口はピンクから紫がかかった赤色をしており、肉は僅かに繊維質で比較的低脂肪です。脂身は黄色味がかった白い色で、香りが良く、非常に引き締まっていながらつやがあります。一時期、その用語「セラノ」は、材料となる豚の系統に関係なく Spain の土壌で作られるすべての生ハムを指しました。Jamon Serrano(ハモン セラーノ)は文字通り Sierra(シエラ)つまり山脈で作られているハムを意味します。加工会社は、自然の加工プロセスを可能にする、冷たく乾いた空気が豊富にある恵まれた特殊な高知気候の場所に発展しました。しかし現在ではその用語「セラノ」はスペイン国内のどこで生産されているかに関係なく、ほとんど白豚を原料とする生ハムだけに使われています。ハモンセラノは、白豚の後ろ脚のみから作られます。

<sup>17</sup> アンダルシア【Andalucia】スペイン南部、イベリア半島最南端の地方。中世に約8百年間ムーア人の支配を受け、イスラム文化の影響が強く残る。セビリアを中心に、コルドバ・グラナダなどの都市がある。[広辞苑第五版図版付き]

### ( 3 ) JR

大阪の北部郊外にある自宅から、職場のある市内まで、長年私鉄を利用していたのだが、JRの新しい路線が開通したこともあって、2年前に通勤経路をJRに変更した。

関西圏では、私鉄沿線の方が、何かと、便利もよくお上品と云われているため、最初は心理的抵抗もかなりあったのだが、変わってみると、JRの便利さが結構気に入っている。駅の数が少ないのと、列車のスピードが早いと、大阪市内が急に近くなった。その分、運賃が少し高いのは、仕方が無い。

今年のはじめ、大阪の府立高校で、韓国語のALTをしていた、釜山出身の若い女性と話す機会があって、彼女は「私、JRのファンです」と云う。通勤で利用するJRのダイヤの正確さを、韓国の鉄道に比べて賞賛する。それに、悲しい時には、JRの環状線に乗って、大阪市内をグルッと一周すると、なぜか気持ちが明るくなる、そうである。聞いていて、何だかJRのために嬉しくなった。

最近のJR西日本のヒットは、ICOCA<sup>18</sup>である。従来の定期券とプリペイドカードが一緒になったICカード。東京では、SUICA<sup>19</sup>として少し前にデビューしたらしいが、関西では、今年の11月から。これがなかなか使い心地が良い。

改札を通るとき、定期やカードを改札口に挿入しなくても、ICOCAが入った定期入れで、所定の場所をポンとタッチするだけで良い。故に改札が素早く通過できる。「ICOCAでイコカ。タッチしてイコカ」である。これが、気持ちいい。

---

<sup>18</sup> “ICOCA”(イコカ)とは、JR西日本の、ICカードを使った新しい出改札システム。現在お使いいただいている定期券やJスルーカードをICカード化したもので、便利な機能をたくさん持っています。“ICOCA定期券”と“ICOCA”の2タイプがあります。用途に合わせて最適な1枚をお選びください。

<http://www.jr-odekake.net/guide/icoca/what.html>

<sup>19</sup> ストアードフェアカードシステム(交通運輸)磁気カードを直接自動改札機に挿入し、利用料金を差し引くシステム。stored(貯える)、fare(運賃)、card(券)の合成語。運賃自動引落としカードシステムともいう。JR共通のオレンジカードなどのプリペイドカードは小銭のやりとりが不要という便利さはあるが、カードで直接に乗れず、他の民鉄、営団、市営などのカードは使えないという不便さがある。そこで、第1ステップはJR東日本のイオカードのように直接自動改札を通ることができるものを各鉄道会社共通に使えるようにしようとするもの。第2ステップは共通なストアードフェアカード。第1ステップの実用化としてスイカ(Suica Super Urban Intelligent Card)が東京圏を中心に2001(平成13)年11月より登場した。現在のところ定期券とイオカードの両方の機能を搭載した「Suica定期券」とイオカードがICカードへと進化した「Suicaイオカード」の2種類がある。[現代用語の基礎知識 2003]

あらかじめ、ICOCA にチャージ（入金）しておけば、定期券区間以外の乗車では、自動的に超過分を精算してくれる。また、ICOCA 本体には、プリペイド部分の残額が表示されないが、ICOCA 用券売機で、過去の使用分と残金の一覧表を、プリントアウトできる。これは便利。

台風の時や雪が降ったり、人身事故があつたりすると、必ず大幅に遅れてくれて、頭に来ることも多い JR だが、いい面もたくさんある。こっちも、ファン心理に近付いてきたのか？ がんばれ JR！である。(Saturday, December 13, 2003)

## 「トリビアの泉」の秘密

中川房代

「トリビアの泉～素晴らしきムダ知識～」<sup>20</sup>という番組がある。なかなかの人気番組で、当初深夜に 30 分枠で放送していたところ、人気を博し、1 時間番組となってゴールデンタイムに引っ越ししてきたのだそう。視聴者から投稿された人生に全く必要のないムダな知識「trivia」を紹介し、芸能人ゲストがそれを品評するという番組である。職場でも生徒の間でも結構話の種になるし、私も、しょーもないと思いつつ、ついチャンネルを合わせてしまうことのある番組である。

番組を知らない方の為に、トリビアとはどんなものか<sup>21</sup>を紹介すると、

パリ・シャンゼリゼ通りのカフェでは、カニかまが食べられている

「ビールの泡」は「ビール」と言えるのかどうかを裁判で争った事がある

と言った類のものである。採用されたトリビアを集めた『『へえ～』の本』も 200 万部を突破し、番組で使用されている『1 / 1 へえボタン』<sup>22</sup>も売れに売れ、紛い物まで登場してきていると聞く。

さて、今回はこの番組の宣伝ではなく、広報、英語で言えば、PR (Public Relations) の話をしたい。それには、この番組に人気があるのは何故か？の理由が大きく関わっている。

<sup>20</sup> フジテレビ系、毎週水曜日、21:00～22:00 放送

<sup>21</sup> 過去の放送分トリビア <http://trivia.web.infoseek.co.jp/trivialist.htm>

<sup>22</sup> 番組公式認定品 <http://www.fujitv.co.jp/trivia/goods.html>



種を明かすと、先日参加した NPO の広報についての講義で、講師は「NPO ジャーナル」<sup>23</sup>の編集委員で読売新聞の記者、NPO 活動にも関わりの深い山畑洋二さん。以下はそれをまとめたものである。

再度。何故人気があるのか？

これは、マーケティングやコミュニケーション学の「2 段階の流れ理論」(Katz and Lazarsfeld 1955)<sup>24</sup>を応用したものだという。つまり、発言力の大きい人からの「口コミ」の利用であるという。この番組の最後に司会者が「明日、早速、職場や学校でこのトリビアを使ってみましょう！」と言って番組は終了する。“オピニオンリーダー”といわれる、時代を先取る発言力や影響力のある人が「これはおもしろい」と言う。それが一人から何人にも伝わり、そのまた一人から何人かに、そして何人かに、とその発言の影響が拡大し、人気が高まっていく、という理屈である。

人気のコツは、まずオピニオンリーダーを味方につけることである。その人たちにどう感じてもらえるのかがポイントである。よい印象や好意を持ってもらうにはどうしたらいいかである。この番組はそれをうまく使うことに成功しているのだそうだ。

さて、番組を離れて、“NPO の広報”について考えてみる。広報は、一種のコミュニケーションである。人や社会と関係を作り、育て、保つことである。NPO の数も全国で 1 万 4000 団体<sup>25</sup>を越え、新聞やテレビなどのマス・メディアでも NPO の文字を目にしない日が無くなってきた。が、しかし、まだまだ理解が進んでいるとは言えない社会状況である。NPO の側が、どんな情報をいかに発信し、社会に理解を求めていくかが問われている。

e-dream-s は、ホームページ、新聞・雑誌への掲載を通じて、社会に対しても情報発信を続けてきた。広報担当の辰己さんを中心に、プレスリリースなども定期的に行っている。しかし、@aglance のアクセス数などを見ると、まだ十分だとは言えないと思う。今回の講義では

---

<sup>23</sup> [http://www.interpeople.or.jp/body\\_09.html#Anchor-33869](http://www.interpeople.or.jp/body_09.html#Anchor-33869)

<sup>24</sup> 広告による影響などを想定し、媒体から比較的小さなグループのオピニオンリーダーへ、オピニオンリーダーから、興味や情報をもたない大きなグループの人へと伝わっていくこと。ブーム醸成の理論も、これに当てはまることが多い。(株式会社 DNP メディアクリエイト、関西 KIKAKU-MAN'S JOB <http://www.dnp.co.jp/DMCK/dicma.html> より)

<sup>25</sup> NPO 認証数；内閣府ホームページ <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

広報活動の意味とその重要性を感じて帰ってきた。今後どんな広報活動をしていけばいいのか。

最後に最近の動きを少し報告する。

昨年のホームページ部門で優秀賞を受賞した「広報コンテスト」<sup>26</sup>には、今年は「e-dream-s ホームページ」を応募した。来週 19 日（予定）の日本経済新聞・夕刊<sup>27</sup>には、@aglance のサイト紹介が掲載予定である。また、「年賀状にステッカーを貼って@aglance の紹介を！年賀状広報キャンペーン 2004」も実施中である。マスコミやオピニオンリーダーを味方に付けるような広報活動をも大いに展開していきたいと思う。

皆さんの創意あるアイデアをお寄せ下さい。

## ベトナムへ行こう！ < 3 > -- 8月と12月のハノイとホーチミン ---

理事 山田昌子

8月のハノイは、蒸し暑い。日差しもきつく、同行した小関さんと何度も「暑い！」と声をあげた。ムンさんに予約してもらったホテルは小さいビジネスホテル。ツインルームに1人ずつ泊まったが、入室した時何故かクーラーに気づかず、クーラー無しでどうやって眠れるのかと途方に暮れた。が、四季のあるハノイでは、12月は随分寒く日本とあまり変わらないらしい。ベトナム下見ツアーでは、セーターが必要だ。私は、寒いのも苦手。

ムンさんというのは、飯田さんが日本語を教えておられる大阪のベトナム領事館の、もと副総領事。いつもにこやかで物腰の柔らかな方だ。4月ハノイへ帰国後、外務省に勤務されている。e-dream-s で次はベトナムへ！という話がでて以来、お世話になっている。ドイモイ(刷新)政策で随分変わったとはいえ、ベトナムは共産国だ。「セミナーをするにはどうしたらいい？」と相談をし、ハノイ友好協会を紹介していただいた。ムンさんによると友好協会が OK すれば教育委員会も OK だというのだ。友好協会トップ2のダオさんにも会った。ECAP にも理解があり、ホテルの手配、英語の話せる英語教

---

<sup>26</sup> 市民活動センター神戸「HYOGON コミュニケーション祭 2004 実行委員会」

<http://npo-tcc.ddo.jp/hyogon/>

<sup>27</sup> 毎週金曜日・夕刊・11面「学楽サイト探訪」

師の召集等、可能だという。この友好協会の紹介で Cat Linh Middle School, Mac Dinh Chi Middle School にも訪れた。ダオさんの下で働いているタンさんと私は同年齢。もと中学校の英語教師で、明るくエネルギー溢れる女性。ハノイの最後の夜一緒に食事し、すっかり仲良くなった。現在は12月の訪問の件で、e-メールで連絡をとり合っている。secondary school 2校訪問(授業も見られるかな?!)、先生方との会合も予定されている。楽しみだ。

一方、同じ国でもホーチミンはちょっと趣きが異なる。夏でも、夕方は風があり過ごしやすかった。ムンさんの紹介で知り合ったマイ・アミンさんによると、湿度の少ない12月は、22~30 という。セーターなど不要だ。だから、1年中それ程気温の変化がなく、四季もない。

マイ・アミンさんは、ベトナム雑貨などのビジネスをしている方だが、共産党の仕事の関係で顔が広い。8月私たちは、マイ・アミンさんと共に、ホーチミン市役所教育課を訪問し、トップ2のミンさんと会った。(マイ・アミンさんは友好協会よりも教育課で実際の話をした方がいいという。ベトナムの組織を理解するのはなかなか難しい?)そこで、ECAP Korea 2003 についてプレゼンをし、是非 ECAP 2004 Vietnam がしたいと言うと、ミンさんは、その場で「実施すると決めましょう!」とおっしゃった。12月は、再度訪問し、ECAP の詳細について話をする事になっている。

ベトナムは、日本との共通点も少なくないようだ。大地を広がる緑の水田を見ると、なんだかほっとする。中国の影響、仏教と儒教に関わる価値観などもそうだ。「ありがとう」を意味するベトナム語の「カムオン」は漢字で書くと「感恩」だそうだ。なんとなく理解できそうな気がする。が、その大きな街であるハノイとホーチミンでも、何かと異なることが多い。気候のみならず、街の様子も違うし、歴史も言葉も違うらしい。ECAP Vietnam 2004 では両方の街を訪れ、人と触れ合い、ベトナムを知る手掛かりにしたいと思う。その上で、ベトナムの先生方と一緒に異文化理解テキストが作れたら最高だ。12月の下見ツアーでまた新たなベトナムの顔に触れることができる・・と思うと、今私はワクワクしている。皆さん、1月の報告をお楽しみに!!!そして、2004年夏、是非一緒にベトナムに行きましょう!!!



右からムンさん、タンさん、ダオさん

男性はミンさん、女性はマイ・アミンさん



## 写真を使ってみての感想と、今後の予定

@aglance 教材使用例作成・収集プロジェクト 道面 和枝

### (1) 写真を使ってみての感想（掲示板）

授業で@aglance の写真を使ってみた感想が、掲示板に寄せられるようになりました。いずれの場合も、写真を見ることが生徒の大きな動機づけになっているのは確かです。私自身は2年生のT-T（サブという立場であり、所属学年ではないため、生徒との人間関係があまりない）で写真を使うことが多いのですが、「写真」は生徒と自分とを結びいいきっかけになってくれています。生徒も楽しみに見てくれるし、興味を持って説明を聞いてくれます。

掲示板の書き込みは、一定の件数を超すと消去されるので、掲示板で紹介されたものを「今週の使用例」の形式にしてストックしていきます。

先日、掲示板で提案があったように、行事などに関する写真の場合（ハロウィン、サンクスギビング、クリスマスなど）は、使用後の報告はもちろんのこと、このように使いたいというものが有り難いですね。それを見て使える（間に合う）からです。折りに触れ、使用例募集の特集を組みたいと思います。

### (2) 中学校の教科書使用例、一挙掲載

いよいよ3学期分で、1年間を通した使用例が完成します。12月末日までにお寄せ下さい。1, 2学期の使用例や「今週の使用例」を参考に、生徒が喜びそうな写真を選びましょう。

<形式>

タイトル画像 学年、人数 教科書 目的 準備するもの、  
使用する画像 授業の進め方

<原稿チェックについて> 提出する際に、よく自分の原稿をご確認下さい。

- ・単純な表記ミスから文章表現、写真番号の書き違いはないか。
- ・英文については、可能な限りA L Tのチェックを受けて下さい。

(3) 今後の使用例収集

「今週の使用例」というコーナーから、「こんなふうに写真を使いました」(仮)のようなコーナーに変えて、形式を問わず、気軽に使用例を紹介しあうものにしていきたいと思っています。さまざまなご意見をお聞かせ下さい。

## 年賀状で@aglance の紹介を！「年賀状広報キャンペーン 2004」

辰巳ゆきえ

皆さん、年賀状の準備はお済みでしょうか？ 去年口コミ(?)で広がった年賀状用@aglanceの紹介ステッカーを今年も用意します！

年賀状の準備はこれからという皆さん、年賀状を利用しての@aglanceの広報に是非ご協力をお願いします。方法は、皆さんが個人で送られる年賀状1枚1枚の一部分に@aglanceの紹介ステッカーを貼付または直接印刷して送っていただくというものです。シールや印刷に必要なインクは各自でご用意をお願いしますが、@aglanceの広報になるだけでなく、皆さんの活動をお知り合いの方々に知っていただくチャンスにもなります。

《サンプル》



@aglance(アット・ア・グランズ)は  
NPO イー・ドリームズ運営の教  
育用写真サイト。55カ国、5766

@aglance よりレバノン・バールベック(世界遺産)

<http://www.aglance.org>



ステッカーは添付ファイルでお送りしますので、既製の宛名シールに印刷して貼ることもできますし、はがきに直接印刷もできます。はがきに直接印刷が手間も省けてお勧めです。

ステッカーに使う写真は何通りかを用意する予定にしています。ご希望の写真やご意見などもお待ちしております。

希望される方は、広報の辰己<[tatsumi@e-dream-s.org](mailto:tatsumi@e-dream-s.org)>まで、メールでお申し込みください。20日ごろまでにお送りする予定です。

#### 編集後記

パソコンのEメールは使っているが、携帯電話のメール機能は「必要ない」と思って使ったことがなかった。でも、周りの知人・友人が携帯メールを多用し始めた最近では、そうも言っていられなくなった。携帯メールは「今すぐ伝えたいこと」が伝えられる唯一の通信手段なのである。Eメールは相手がメールをチェックしてくれるのを待たなければならないし、携帯電話は相手が話すことができない時もある。電車の中では、もうほとんど携帯電話で話している人を見かけない。そうなると、やはり、携帯メールの登場だ。驚いたことに、私の友人は、出産の間に「もうすぐ生まれそう！」と携帯メールを使って知らせてきた。(メールをもらったほうは、どうしようもなかったが・・・)時代の流れより随分遅くなってしまったが、そろそろ始めようかと思い腰をあげることにしよう。 (田辺恵美)